

第一中学校だより



真砂路

発行

柏崎市立第一中学校
(柏崎市学校町5番27号)
電話 22-4158 FAX 22-4159
令和8年1月23日発行

成長を支える「楽しさ」

校長 矢沢 欣也

令和8年丙午（ひのえ・うま）の年を迎えました。馬は力強さとスピードの象徴であり、「前進」「成長」「飛躍」などを意味すると言われています。新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた年となりますことをお祈り申し上げます。

さて、この1月、2月、3月は、生徒たちにとって卒業や進級に向けた大切な節目の時期です。それぞれの学年の締めくくりであると同時に、次年度への準備期間でもあります。今年度残りの授業日は、3年生が28日、1・2年生が39日（1月23日現在）となりました。今年度のゴールが生徒たち一人一人にとって充実したものとなるよう、教職員一同、引き続き取り組んでまいります。本年も、第一中学校の教育にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

冬休み明けの全校集会では、生徒たちに次のような話をしました。

令和8年、西暦では2026年、新しい年がスタートしました。「心に決めた目標に向かって前に進もうとする強い気持ち」のことを「志」といいます。新しい年のスタートにあたり、それぞれが自分なりの「志」を明確にもって、一步を踏み出してほしいと思います。

さて、サッカー日本代表のキャプテンも務め、活躍された遠藤保仁さんの話をします。

遠藤選手は、鹿児島県生まれで、鹿児島実業高校時代には全国高校サッカー選手権大会で優勝し、その後のJリーグでは、特にガンバ大阪を中心に長く活躍された選手です。その遠藤選手は小さい頃からサッカーが大好きでしたが、中学生になると、きつい練習を避けるようになり、「なるべく走りたくない」「楽をしたい」「格好良く見えるプレーをしたい」と、手を抜くようになったそうです。

しかし、高校生になり、監督の先生に言われた言葉をきっかけに、心を入れ替えたそうです。

「どんなにサッカーが好きで、どんなにサッカーがやりたくても、サッカーができない人がいる」「サッカーができることを当たり前と思ってはいけない」「練習できついと思えるのは素晴らしく、ありがたいことだ。きつい練習を乗り越えるからこそ、本当の楽しさが生まれる。」

その後、遠藤選手は心を入れ替え、苦しいことや苦手なことから逃げなくなったそうです。そして、苦しいときにはこの言葉を思い出し、自分のサッカーの技術と体、そして心を鍛えてきたそうです。

みなさんも、今年一年の中で、苦しいと感じる場面があるかもしれません。しかし、それをのり越えた先にこそ、成長と喜びがあります。この苦しさを乗り越えることによって得られる楽しさは、「楽」をして得られる楽しさとは質が異なります。中学生の時期には、乗り越える楽しさ（本当の楽しさ）を、1つでも多く味わってほしいと願っています。それが、自分の可能性を広げることに結びつくからです。

3年生は卒業そして進路実現へ、2年生は最高学年へ、1年生は新入生の先輩となる日が、それぞれ近づいています。この1月を良いスタートの月とし、実り多い一年にしてほしいと思います。

令和7年度学校評価ありがとうございました

令和7年度も残すところあと2か月余りとなりました。今年度も保護者、地域、関係機関の皆様には第一中学校の教育活動へのご理解と多大なるご協力を賜りました。3月の年度末までもうわずかの期間になりましたが、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

さて、第一中学校では7月と12月に保護者を対象に学校評価アンケートを行いました。おおむね大変肯定的（そう思う、どちらかというと思う）な評価結果となりましたが、真摯に評価を受け止め今年度の成果と課題を分析し、来年度の教育活動の改善に向けて活かしてまいりたいと思います。

令和7年度保護者アンケート		肯定的評価（％）	
質 問	項 目	12月	7月
1	一中の教育構想は、子どもたちの実態や保護者、地域の願いにかなったものである。 「教育構想図」参照	97.6	99.2
2	学校は、教育目標実現のための学校づくりに努力するなど、信頼できる。「教育構想図」参照	95.4	96.8
3	学校だより、学年だよりなどの各種たよりや、学年・学級保護者会などで、学校の考えや取組がよく分かる。	99.5	100
4	学校では、子どもにとって充実した学校行事や生徒会行事が行われている。	98.4	98.4
5	学校は、家庭や地域と共に、子どもの成長のために教育を進めようとしている。	95.7	94.4
6	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	92.1	91.1
7	子どもは、学校生活の中で、好ましい人間関係を築く力を高めている。	90.4	90.3
8	子どもは、部活動や社会体育活動に取り組むことを通して、心やからだが成長している。	93.1	89.5
9	教職員は、一人一人の子どもを大切にし、温かく厳しく対応している。	97.8	94.4
10	教職員は、保護者に対して誠意をもって対応したり、相談に応じたりしている。	98.4	96
11	学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの社会性を育成している。	94.3	94.4
12	子どもは、平日に平均して「学年×10分+60分」(1年生は70分、2年生は80分、3年生は90分)以上の家庭学習時間を確保している。	47.3	42.7
13	子どもが家庭学習に集中できるよう家庭環境を整えている。	80.9	80.6
14	子どもは、目標をもって学習に取り組んでいる。	71.2	64.5
15	子どもは家で、あいさつをしている。(おはよう、ただいま、おやすみ、ありがとう等)	93.0	91.9
16	家庭では、子どものあいさつについて、褒めたり、指導したりして、働き掛けを行っている。	87.4	88.7
17	子どもは家で、決まった手伝いをしている。	55.0	54.8
18	家庭では、子どもに手伝いなどの役割を与え、褒めたり、指導したりしている。	69.8	72.6
19	学校からの配付物は、配られた日のうちに保護者に見せている。	52.5	54.8
20	子どもは起床、就寝、食事などにおいて規則正しい生活をしている。	72.4	75
21	ＴＶ・ゲーム・スマホ・携帯電話の使用は、家族で決めたルールを守っている。	58.1	62.9
22	家庭では、ＴＶ・ゲーム・スマホ・携帯電話等の使用について、家族で決めたルールを守らせている。	61.0	71.8
23	子どもは自分を大切にし、自分のことを好きだと思っている。	93.3	85.5

24	子どもは差別や偏見をもたず、誰にでも分け隔てなく接している。	92.9	91.9
25	子どもは周りの人を大切に考え、思いやりのある言動をとっている。	94.7	94.4
26	子どもは正しいと思うことは勇気をもって行動している。	90.9	88.7

【要望等への回答】

保護者からの要望等	学校からの回答
いつもありがとうございます。充実した学校生活を送っているようで、大変ありがたいです。今後ともご指導よろしくお願いします。	一中の教育活動へのご理解ご協力をありがとうございます。今後より一層、生徒がいきいきと学び、活動することができる学校づくりを目指して職員一同努めてまいります。
不登校の生徒でも、クラスの同級生と少しの時間でも話せる時間を作ってくださいと有り難いです。学級委員の生徒さんなどと先生が相談してくださると有り難いです。	不登校の生徒にとって、同級生とのつながりを保つことが安心感や今後の学校生活への一助となる場合があることは、学校としても大切にしたいことです。一方で関わり方については、生徒本人の気持ちや状況を最優先に考える必要があると考えています。本人の意向を丁寧に確認しながら、必要に応じて学級委員等の生徒とも相談し、無理のない形で交流の機会を工夫してまいります。
重要なおたよりはメール配信もしてほしい。	検討してまいります。
定期テストの日程が今年度から1日で全ての教科を実施するようになったのは何故ですか？	将来的に、ほぼ全ての生徒が高校入学者選抜検査を受けることを想定すると、1日で5教科のテスト実施に慣れておくことが必要と考えます。また、教育課程上の法で定められた規定の授業時数の確保のため、できるだけ授業を行うようにしています。
家庭でも気をつけてはいるのですが、家庭学習時間への声かけをもう少し積極的にしていただけるとありがたいです。	家庭学習の時間確保は、多くのご家庭で悩まれている課題であると受け止めております。学校としても、家庭学習の大切さについて生徒への声かけをこれまで以上に意識し、保護者の皆様にも分かりやすくお伝えできるよう改善してまいります。
宿題をきちんと出して欲しい。学力が心配。もし、自主学習にするのであればある程度の基準を示して欲しい。子どもたちにやらなければという気持ちを出させるような手だてをお願いしたい。	
良いところはもちろん伸ばしてもらいたいです。逆に悪いところやダメなところに関しては、きちんと叱っていただきたい。礼儀や敬意、思いやりの部分も、家庭で教えるべきところですが、学校でも指導していただけたらと思います。	学校としても礼儀や敬意、思いやりといった社会性を大切に、日常の教育活動の中で場面に応じた指導を行っております。また、社会性については家庭と学校が連携しながら育んでいくべきものであると受け止め、今後も生徒一人一人の成長のために、良い点は認め課題については丁寧に向き合いながら指導を続けてまいります。
身体測定などや各科の検診などで、受診の必要があればお知らせが来るように、心の不調や、その他受診が必要だと大人が判断した際は、保健室やカウンセラーの先生を通じて、外部へ繋ぐ連絡があると良いと感じた。	学校生活の中で心の不調等が見られ、保護者の方にお知らせする必要があると判断した場合には、保健室やスクールカウンセラー等を通じて必ずご家庭に状況をお伝えしております。また、医療機関や外部機関との連携につきましては、生徒・保護者の意向を大切に、保護者のご了承を得た上でつなぐことを基本としております。今後も保護者の皆様と情報を共有しながら、生徒にとって最善の支援につながるよう丁寧な対応を心がけてまいります。
時代の流れと共に、学習方法や部活動、学校行事、また来年度からは受験に関しても変化があります。子どもたちへの説明や対応もですが、学校と保護者の連携も大切だと思いますのでよろしくお願いいたします。	目まぐるしく変わる予測のつかない時代と言われる昨今、社会とともに学校の状況も変化しています。生徒はもちろん、保護者の方への説明や連携も丁寧に行っていくように心がけてまいります。



後期 生徒アンケートの結果から(12月実施)

右の表は、12月に実施した生徒アンケート結果の中から主なものを抜粋したものです。数値は肯定評価の値であり、いずれもパーセントになっています。

平日の学習時間の確保が難しいようです。学習用端末のドリルパークなどを活用した課題配付を工夫しましたが、今後も家庭学習の定着に向けた工夫を検討していきます。メディアの使用についてはご家庭でのルール遵守を今一度お願いするとともに学校でも情報モラルの観点から講習会を開催するなど対策を考えていきます。

今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

質 問	1 年 生	2 年 生	3 年 生	全 体	前期全体
毎日、楽しく学校生活を送っている	97	90	100	94	94
将来の夢や目標をもっている	73	68	74	71	72
命を尊び、自分の命も他人の命も大事にして生活している	98	97	98	98	97
自分で時計を確認し、時間通りに活動を始められるように行動している	90	90	94	91	96
日頃から、整理整頓を心がけている	87	85	95	88	86
自分から相手に届く挨拶・返事をしている	95	83	95	90	92
自分には良いところがある	83	81	87	84	83
学校の先生は自分のことを認め、応援してくれる	96	92	100	95	97
差別や偏見のない生活をころがけている	98	93	100	95	96
授業に意欲的に取り組んでいる	86	88	95	90	92
分からない問題にも粘り強く取り組んでいる	85	87	91	88	90
平日に学年×10分+60分以上家庭学習に取り組んでいる(塾を含む)	41	55	78	56	57
起床、就寝、食事など、規則正しい生活を送っている	82	79	83	79	82
メディアの使用は、家庭で決めた時間までにするように心がけている	77	81	83	79	79

「さわやか！一中」2・3月の主な予定

日	曜	2 月	日	曜	3 月
3	火	公立高校特色化選抜出願締切	2	月	全校卒業式練習
4	水	2 学年修学旅行説明会	3	火	SC 入試事前指導
5	木	2 学年被爆体験伝承講話 専門委員会	4	水	公立高校入学者選抜学力検査
6	金	English Day	5	木	卒業式予行練習・準備
8	日	3 年 1 組保育実習	6	金	第79回卒業式
9	月	長岡高専学力選抜入試日	9	月	ICタイム MC
10	火	公立高校特色化選抜面接日	10	火	柏友会朝会
10	火	全校朝会 ダンス授業	12	木	公立高校入試合格発表
12	木	3 年 2 組保育実習	13	金	公立高校2次募集実施学校・学科発表
12	木	柏友会総会	16	月	公立高校2次募集出願受付開始
13	金	公立高校特色化選抜内定通知	17	火	公立高校2次募集出願締切
15	日	MC ダンス授業	18	水	公立高校2次募集学力検査 SC
15	日	2 学年修学旅行【広島】(～17日)	19	木	公立高校2次募集合格発表
16	月	1 学年脱炭素代表生徒発表(メディアシップ)	24	火	専門委員会
18	水	公立高校一般入試出願開始	25	水	後期終業式
18	水	公立高校一般入試出願締切			学年末休業(～31日) 離任式
19	木	2 学年修学旅行振休			
20	金	全校卒業式練習			
24	火	入学予定者説明会・体験授業			
25	水	公立高校志願変更受付開始			
26	木	ダンス教室			
27	金	3 年生を送る会			
		公立高校志願変更受付締切			
		同窓会入会式 ダンス授業			
		P T A 常任評議員会・引継ぎ会			



一中HP
QR
コード

